

かほだより



長野県松本家畜保健衛生所
〒390-0851 松本市島内西川原 6931
TEL:0263-47-3223 FAX:0263-47-0101
E-mail: matsukachiku@pref.nagano.lg.jp
中信家畜畜産物衛生指導協会
TEL:0263-47-6789

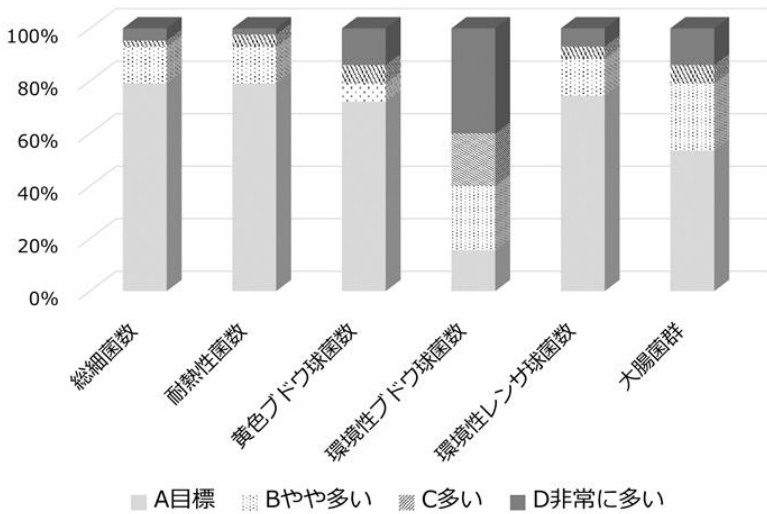
令和4年後期バルク乳検査の成績について

令和4年9～11月に実施しました後期バルク乳検査（酪農生産性向上対策事業）では、採材等にご協力いただきありがとうございました。

管内酪農家40戸(43検体)で実施した検査の集計結果をお知らせします。

なお、無乳性レンサ球菌、BVDウイルス遺伝子、マイコプラズマは全検体で陰性でした。

各細菌数の判定別農家の割合



黄色ブドウ球菌結果について

A判定 72%(R3年度 55%)

D判定 14%(R3年度 31%)

となり、D判定の割合が減少し、A判定の割合が上昇していました。

その他の細菌につきましても、

環境性ブドウ球菌以外はA判定の割合が50%以上でした。

(参考) 判定基準（酪農生産性向上事業実施要領に係るバルク乳スクリーニング検査マニュアルより）

		判定基準			
		A 目標	B やや多い	C 多い	D 非常に多い
生菌数	CFU/ml	3,000 未満	～5,000	～10,000	10,000 以上
耐熱性菌		50 未満	～150	～500	500 以上
黄色ブドウ球菌		0	～100	～200	200 以上
無乳性レンサ球菌		0	～100	～200	200 以上
環境性ブドウ球菌		100 未満	～200	～400	400 以上
環境性レンサ球菌		700 未満	～1,200	～2,000	2,000 以上
大腸菌群		0	～100	～400	400 以上

黄色ブドウ球菌をはじめとする伝染性乳房炎対策は

「感染牛の特定」と「感染牛は最後に搾乳し、他の牛に感染させない」
ことが大切です。

引き続き衛生的な搾乳を心掛けるとともに、個体乳の検査による感染牛の特定や搾乳立会による搾乳手順等の検討のご希望がありましたら家畜保健衛生所までお問い合わせください。